

区分レベル	I-A-1
学科専攻名	副学長、学務部長
記載者名	武分 祥子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-A-1(1)	I-A-1(1)建学の精神は短期大学の教育理念・理想を明確に示している。 (計画) 建学の精神に基づき、学校及び学科専攻の教育理念、教育目標、3つの教育理念を毎年点検する。	I-A-1(1) (実行) 今年度も建学の精神に基づき、学校及び学科専攻の教育理念、教育目標、3つの教育理念を全体、各学科専攻、各部署で点検できた。	◎ I-A-1(1) (検証) 今年度も建学の精神に基づき、学校及び学科専攻の教育理念、教育目標、3つの教育理念を全体、各学科専攻、各部署で点検できた (拡大教授会議事録、学科会議事録等)。	I-A-1(1) (改善) 学長をリーダーとして、全体かつ各部署が確認を継続する。
I-A-1(2)	I-A-1(2)建学の精神は教育基本法等に基づいた公共性を有している。 (計画) 教育基本法、私立学校法に基づき公共性を有するものか毎年点検する。	I-A-1(2) (実行) 学校案内、学生便覧の作成と校正を通じて確認ができた (学校案内、学生便覧)。	◎ I-A-1(2) (検証) 学校案内、学生便覧の作成と校正を通じて確認ができた (学校案内、学生便覧)。	I-A-1(2) (改善) 引き続き、毎年の点検を意識し実施する。
I-A-1(3)	I-A-1(3)建学の精神を学内外に表明している。 (計画) 毎年、学生便覧及び学校案内への記載、Webサイトの発信等をする。	I-A-1(3) (実行) 学校案内、学生便覧の校正を通じて、確認ができたものを発行し配付、発信できた (学校案内、学生便覧、Webサイト)。	◎ I-A-1(3) (検証) 学校案内、学生便覧の校正を通じて、確認ができたものを発行し配付、発信できた (学校案内、学生便覧、Webサイト)。	I-A-1(3) (改善) 引き続き、建学の精神を学校配付物及びWebサイトにて公表する。
I-A-1(4)	I-A-1(4)建学の精神を学内において共有している。 (計画) 拡大教授会での共有化、授業、アセンブリーアワーを通じて、随時全体で確認することで共有化をはかる。	I-A-1(4) (実行) 年度当初の拡大教授会での学長の話、授業実施、アセンブリーアワーによって全体で確認・共有化できた (拡大教授会議事録、「美しく生きる」シラバス、水曜日程行事表)。	◎ I-A-1(4) (検証) 年度当初の拡大教授会での学長の話、授業実施、アセンブリーアワーによって全体で確認・共有化できた (拡大教授会議事録、「美しく生きる」シラバス、水曜日程行事表)。	I-A-1(4) (改善) 学長をリーダーとして、関係部署が共有が図れるように継続する。
I-A-1(5)	I-A-1(5)建学の精神を定期的に確認している。 (計画) アセンブリーアワー、宗教行事の実施において、年間を通じて確認する。	I-A-1 (5) (実行) 年間を通じた行事等の実施において定期的に確認できた (学年暦)。	◎ I-A-1 (5) (検証) 年間を通じた行事等の実施において確認できた (学年暦)。	I-A-1(5) (改善) 引き続き、定期的に確認できるように実施計画を立てて実行していく。

区分レベル	I-A-2
学科専攻名	地域連携委員会
記載者名	新海 シズ

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-A-2(1)	I-A-2 (1)地域・社会に向けた公開講座、生涯学習事業、正課授業の解放（リカレント教育を含む）等を実施している。 (計画) 公開講座の計画・実施。出前授業の計画・実施。正課授業の解放等の実施。	I-A-2 (1) (実行) 公開講座 【R4】28講座実施。出前授業【R4】23回実施。【R4】「地域社会学」一部授業解放。専門実践給付制度を利用して学ぶ学生【R4】1名、高度長期人材育成コースの学生の受け入れ【R4】1年9名,2年11名	◎ I-A-2 (1) (評価) 公開講座は、コロナ禍で3講座中止となった。感染症の状況に応じた実施可能性を地域連携センター事務局、委員会にて検討し実施した。「Zoomをやってみよう!」講座の開催および一部オンラインでの開講を行った。	I-A-2 (1) (改善) 講座担当者の一覧を作成し、委員会にて検討、講座の計画を促していく。新型コロナウイルス感染症5類移行における講座のあり方の検討。
I-A-2(2)	I-A-2 (2)地域・社会の地方公共団体、企業(等)、教育機関及び文化団体等と協定を締結するなど連携している。 (計画) 協定を結んでいる飯田市、高森町、泰阜村など、企業(等)、教育機関等との連携の継続。	I-A-2 (2) (実行) 飯田市、高森町、泰阜村との協定を継続している。飯田市「いいレポ♡」、高森町「わかもの・特命係」に委嘱・任命された学生が活動した。 「丘の上 結いスクエア」を見学し、講座を開講する実施可能性を探った。第一回「ふらっと会議」に参加した。 企業においては、飯田市のパン屋4店および菓子店、飲食店と地元の食材を活用し、それぞれパン、菓子、冷凍食品の商品開発を行い販売した。 教育機関では、飯田コアカレッジ、飯田技術専門学校と連携し、ふるさと進学相談会を行った。	◎ I-A-2 (2) (評価) 実行できていることを継続していかれるようにする。	I-A-2 (2) (改善) 【飯田短期大学】校名変更に伴う協定書の修正及び確認を行う。
I-A-2(3)	I-A-2 (3)教職員及び学生がボランティア活動等を通じて地域・社会に貢献している。 (計画) 教職員のボランティア活動等は、教務課に提出した教員調書で把握する。学生のボランティアの参加の現状は「学外活動届」にて、「地域貢献活動」単位取得者も教務課で把握する。	I-A-2 (3) (実行) 学生のボランティア活動は、「地域貢献活動」として単位取得可能である。《学外活動届》は教務課に提出することとなっている。	○ I-A-2 (3) (評価) コロナ禍、活動に制限があるため、明けてから検討する。	I-A-2 (3) (改善) 学生・教職員のボランティア活動の地域への貢献度をどのように評価するか検討する。

区分レベル	I-B-1
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-1(1)	I-B-1 (1) (計画) 学科・専攻の教育目的・目標が建学の精神に基づき確率している確認済(令和2年認証評価)であるが、令和5年度共学化に伴い見直しをする	I-B-1 (1) (実行) 令和5年度共学がに伴い見直しを行った	◎ I-B-1 (1) (評価) 共学化に伴い見直しを適切に行うことができた。	I-B-1 (1) (改善) 改善事項なし
I-B-1(2)	I-B-1 (2) (計画) 学科専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	I-B-1 (2) (実行) 学生便覧及びWebへの表記を継続した	◎ I-B-1 (2) (評価) 継続に問題はない	I-B-1 (2) (改善) 改善事項なし
I-B-1(3)	I-B-1 (3) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の養成に答えているか定期的に点検していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する ※11月の委員会で各学科・専攻課程の教育目標・目的を点検する	I-B-1 (3) (実行) 11月の教務委員会で各学科・専攻課程の教育目標・目的を点検した	◎ I-B-1 (3) (評価) 継続に問題はない	I-B-1 (3) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I-B-1
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-1(1)	<p>I-B-1 (1) (計画)</p> <p>①建学の精神に基づき定めていることを確認済 (令和2年認証評価より継続: 「家政学を基盤とした教育目的『生活主体としてうつくしく生きることのできる人を養成します』を追加」)</p> <p>②専攻名変更に伴う文言等の見直しを行う</p>	<p>I-B-1 (1) (実行)</p> <p>①継続した</p> <p>②専攻名変更に伴い教育目的・教育目標の文言中の「家政学」を「生活科学」と改めた</p>	<p>I-B-1 (1) (評価)</p> <p>①継続に問題はない</p> <p>②教育目的・教育目標の文言見直しに問題はない</p>	<p>I-B-1 (1) (改善)</p> <p>①②改善事項なく次回継続</p>
I-B-1(2)	<p>I-B-1 (2) (計画)</p> <p>①教育目的・目標の学内表明: 専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に説明する (令和2年認証評価より継続)</p> <p>②教育目的・目標の学外表明: 本学Webサイトに掲示 (令和2年認証評価より継続)</p>	<p>I-B-1 (2) (実行)</p> <p>①専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に説明した</p> <p>②本学Webサイトへの継続掲示</p>	<p>I-B-1 (2) (評価)</p> <p>①入学時オリエンテーションと半期ごとの説明は効果的と考え継続に問題はない</p> <p>②継続に問題はない</p>	<p>I-B-1 (2) (改善)</p> <p>①②改善事項なし</p>
I-B-1(3)	<p>I-B-1 (3) (計画)</p> <p>専攻会(slack)で教育目的・目標の点検を11月までに行い教務委員会に提出する (令和2年認証評価より継続)</p>	<p>I-B-1 (3) (実行)</p> <p>11月までに教育目標・目的の点検をした</p>	<p>I-B-1 (3) (評価)</p> <p>教育目標・目的の点検を行い文言の修正を行った</p>	<p>I-B-1 (3) (改善)</p> <p>改善事項なし</p>

区分レベル	I-B-1
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-1(1)	I-B-1 (1) (計画)) 学科・専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立しているか点検する。	I-B-1 (1) (実行) 専攻会によって、専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づいているか確認した。	◎	I-B-1 (1) (改善)
I-B-1(2)	I-B-1 (2) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明しているか点検する。	I-B-1 (2) (実行) 学校案内、学生便覧で学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明している。	◎	I-B-1 (2) (改善)
I-B-1(3)	I-B-1 (3) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に込えているか定期的に点検している。	I-B-1 (3) (実行) 卒業時の到達目標に対する評価を数値化して検証する。	○	I-B-1 (3) (改善) 学外実習の打ち合わせ等で就職先に出向いた時に、地域の養成に込えていると言えるか聞いてくる。

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I -B-1(1)	I -B-1 (1) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標が、建学の精神に基づいているか専攻内で点検する。	I -B-1 (1) (実行)	◎ I -B-1 (1) (評価) 教務委員会の中で、点検した (会議録)。	I -B-1 (1) (改善) 継続
I -B-1(2)	I -B-1 (2) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明できているか点検する。	I -B-1 (2) (実行)	◎ I -B-1 (2) (評価) 教務委員会の中で、点検した (会議録)。	I -B-1 (2) (改善) 継続
I -B-1(3)	I -B-1 (3) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に応えているかを点検するために、近隣の自治体および産業界に意見聴取する。	I -B-1 (3) (実行)	◎ I -B-1 (3) (評価) 近隣の自治体に点検してもらった (アンケート結果)。引き続き定期的な点検が必要である。	I -B-1 (3) (改善) 定期的に近隣の自治体・企業・施設等に点検してもらう。

区分レベル	I-B-1
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-1(1)	I-B-1 (1) (計画) 建学の精神に基づき、学科の教育目的、目標について点検を行う。	学科会において、点検を行った。	◎ I-B-1 (1) (評価)	I-B-1 (1) (改善) 継続する
I-B-1(2)	I-B-1 (2) (計画) 学生便覧に記載し、HPに掲載する。	I-B-1 (2) (実行) 学生便覧に記載し、HPに掲載している。	◎ I-B-1 (2) (評価)	I-B-1 (2) (改善) 継続する。
I-B-1(3)	I-B-1 (3) (計画) 卒業後アンケート、および包括協定を結んでいる自治体へのアンケート調査を行う。	I-B-1 (3) (実行) 卒業後アンケート、および包括協定を結んでいる自治体へのアンケート調査を行っている。	○ I-B-1 (3) (評価) 卒業後評価アンケートの回答を次年度に向けての見直しに活かすことができていない	I-B-1 (3) (改善) 卒業後アンケートの回答結果を教育内容に反映させることができる流れを確立する必要がある

区分レベル	I-B-1
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)	
I-B-1(1)	I-B-1 (1) (計画) できている。 学科の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立しているか確認する。	I-B-1 (1) (実行) 学科会議で確認した。	◎	I-B-1 (1) (評価)	I-B-1 (1) (改善)
I-B-1(2)	I-B-1 (2) (計画) 学科・専攻課程の教育目的・目標を学生便覧やwebサイトに明記し、学生には新入生オリエンテーションで説明する。	I-B-1 (2) (実行) 学生便覧やwebに掲載しており、4月の新入生オリエンテーションで、学生に説明を行った。	◎	I-B-1 (2) (評価)	I-B-1 (2) (改善)
I-B-1(3)	I-B-1 (3) (計画) 学科の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に込えているかについて、実習連絡会議や実習打ち合わせ、実習中などで意見をいただく。	I-B-1 (3) (実行) 3月の実習連絡会議で、実習受け入れ先となる病院の看護部長及び実習指導者にご意見を頂いた。実習中も、卒業生の状況等様子をお聞きしている。	◎	I-B-1 (3) (評価)	I-B-1 (3) (改善)

区分レベル	I-B-2
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-2(1)	I-B-2 (1) (計画) 短期大学の学習成果を建学の精神に基づき定めていることを確認済(令和2年認証評価)であるが、令和5年度共学化を踏まえ適切な見直しを行う	I-B-2 (1) (実行) 令和5年度共学化を踏まえ適切な見直しを行った	◎ I-B-2 (1) (評価) 共学に伴う見直しを適切に行うことができた	I-B-2 (1) (改善) 改善事項なし
I-B-2(2)	I-B-2 (2) (計画)	I-B-2 (2) (実行)	◎ ・ ○ ・ △ I-B-2 (2) (評価)	I-B-2 (2) (改善)
I-B-2(3)	I-B-2 (3) (計画) 学修成果を学内外に表明していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する ①学内：学習便覧 ②学外：本学Webサイト	I-B-2 (3) (実行) 継続した	◎ I-B-2 (3) (評価) 継続に問題はない	I-B-2 (3) (改善) 改善事項なし
I-B-2(4)	I-B-2 (4) (計画) 学修成果の学校教育法の短期大学の規定に照らした定期的な点検については、教務委員会で全学科専攻の学修成果を点検していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する ※11月の教務委員会で点検する	I-B-2 (4) (実行) 継続した	◎ I-B-2 (4) (評価) 継続に問題はない	I-B-2 (4) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I -B-2(1)	I -B-2 (1) (計画)	I -B-2 (1) (実行)	I -B-2 (1) (評価)	I -B-2 (1) (改善)
I -B-2(2)	I -B-2 (2) (計画) 学習成果を教育目的・目標に基づき定めていることを確認済(令和2年認証評価より継続)	I -B-2 (2) (実行) 継続した	◎ I -B-2 (2) (評価) 継続に問題はない	I -B-2 (2) (改善) 改善事項なし
I -B-2(3)	I -B-2 (3) (計画) ①学習成果の学内表明：専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に確認する (令和2年認証評価より継続) ②学習成果の学外表明：本学Webサイトに掲示 (令和2年認証評価より継続)	I -B-2 (3) (実行) ①専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に確認した ②本学Webサイトへの継続掲示	◎ I -B-2 (3) (評価) ①学内の表明になっており継続に問題はない ②学外の表明になっており継続に問題はない	I -B-2 (3) (改善) 改善事項なし
I -B-2(4)	I -B-2 (4) (計画) 専攻会(slack)で学習成果の点検を11月までに行い教務委員会に提出する (令和2年認証評価より継続)	I -B-2 (4) (実行) 11月までに教育目標・目的の点検をした	◎ I -B-2 (4) (評価) 継続に問題はない	I -B-2 (4) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I-B-2
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-2(1)	I-B-2 (1) (計画) 短期大学としての学習成果を建学の精神に基づき定めているか確認する。	I-B-2 (1) (実行) 専攻としての建学の精神を定め、入学時に示した。	◎	I-B-2 (1) (評価) I-B-2 (1) (改善)
I-B-2(2)	I-B-2 (2) (計画) 学科・専攻課程の学習成果を学科・専攻課程の教育目的・目標に基づき定めているか点検する。	I-B-2 (2) (実行) 各教科ごとに到達目標を定めているか授業概要で確認した。(授業概要)	◎	I-B-2 (2) (評価) I-B-2 (2) (改善)
I-B-2(3)	I-B-2 (3) (計画) 学習成果を学内外に表明している。	I-B-2 (3) (実行) 10月に事例報告会を開催し学習成果を表明した。	◎	I-B-2 (3) (評価) I-B-2 (3) (改善)
I-B-2(4)	I-B-2 (4) (計画) 学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検している。	I-B-2 (4) (実行) 11月に専攻の教育目的・目標および卒業時の到達目標との関連を点検する。	◎	I-B-2 (4) (評価) 11月に専攻の教育目的・目標および卒業時の到達目標との関連を点検した。 I-B-2 (4) (改善)

区分レベル	I-B-2
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-2(1)	I-B-2 (1) (計画) 短期大学としての学習成果が、建学の精神に基づいているか点検する。	I-B-2 (1) (実行)	◎ I-B-2 (1) (評価) 教務委員会の中で、点検した (会議録)。	I-B-2 (1) (改善) 継続
I-B-2(2)	I-B-2 (2) (計画) 学科・専攻課程の学習成果が、学科・専攻課程の教育目的・目標に基づいているか点検する。	I-B-2 (2) (実行)	◎ I-B-2 (2) (評価) 教務委員会の中で、点検した (会議録)。	I-B-2 (2) (改善) 継続
I-B-2(3)	I-B-2 (3) (計画) 学生便覧への記載、Webサイトの発信等をする。	I-B-2 (3) (実行)	◎ I-B-2 (3) (評価) 学生便覧およびWebサイトに発信できた (学生便覧、Webサイト)	I-B-2 (3) (改善) 継続
I-B-2(4)	I-B-2 (4) (計画) 学校教育法の短期大学の規定に照らして、学修成果を点検する。	I-B-2 (4) (実行)	○ I-B-2 (4) (評価) 学生便覧の作成と校正を通じて確認できた (学生便覧)。	I-B-2 (4) (改善) 継続

区分レベル	I-B-2
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-2(1)	I-B-2 (1) (計画) 建学の精神に基づき、学修成果の点検を行う。	I-B-2 (1) (実行) 学生便覧の校正時に点検を行った。	◎	I-B-2 (1) (評価) I-B-2 (1) (改善) 継続する
I-B-2(2)	I-B-2 (2) (計画) 学科の教育目的・目標に基づき、学修成果の点検を行う。	I-B-2 (2) (実行) シラバス作成時に学修成果の点検を行った。	◎	I-B-2 (2) (評価) I-B-2 (2) (改善) 継続する
I-B-2(3)	I-B-2 (3) (計画) 学生便覧、授業概要に掲載する。	I-B-2 (3) (実行) 学生便覧、授業概要に掲載している。	◎	I-B-2 (3) (評価) I-B-2 (3) (改善) 継続する
I-B-2(4)	I-B-2 (4) (計画) 学科会にて点検する	I-B-2 (4) (実行) 令和4年11月～12月 学科会にて点検を行った。	○	I-B-2 (4) (評価) 令和4年1月、教務委員を中心に学科会で検討を行い、設問の内容を分割、再構成し、評価しやすい内容とした。 I-B-2 (4) (改善) 教務委員を中心に早い時期に、教育目的、目標、AP/CP/DPと学修成果、カリキュラムマップとを関連させ、見直しを行い、来年度のカリキュラムに反映させることができるようにする。(11月中～)

区分レベル	I-B-2
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-2(1)	I-B-2 (1) (計画)	I-B-2 (1) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	I-B-2 (1) (評価) I-B-2 (1) (改善)
I-B-2(2)	I-B-2 (2) (計画) 学科の学習成果を学科の教育目的・目標に基づき定めているか点検する。	I-B-2 (2) (実行) 学科会議で確認した。	◎	I-B-2 (2) (評価) I-B-2 (2) (改善)
I-B-2(3)	I-B-2 (3) (計画) 学科の学習成果を学内外に表明する。	I-B-2 (3) (実行) 学生便覧・授業概要、webサイトに学習成果を示しており、学生に対してはオリエンテーションの際に説明した。	◎	I-B-2 (3) (評価) I-B-2 (3) (改善)
I-B-2(4)	I-B-2 (4) (計画) 学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検する。	I-B-2 (4) (実行) 資格に関する法令等の改正がないか確認し、点検した。	◎	I-B-2 (4) (評価) I-B-2 (4) (改善)

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 三つの方針を関連付けて一体的に定めていることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する	I-B-3 (1) (実行) 継続した	◎ I-B-3 (1) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (1) (改善) 改善事項なし
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 三つの方針を組織的に議論を重ねて策定していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する ※11月の教務委員会で本学及び各学科専攻の三つの方針を議論する	I-B-3 (2) (実行) 11月の教務委員会で本学及び各学科専攻の三つの方針を協議した	◎ I-B-3 (2) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (2) (改善) 改善事項なし
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) 三つの方針を踏まえた教育活動を行っていることは確認済(令和2年認証評価)であり、教務委員会においてその確認を継続する ※特に11月の教務委員会で三つの方針を踏まえた教育活動をj確認する	I-B-3 (3) (実行) 11月の教務委員会で三つの方針を踏まえた教育活動を確認した	◎ I-B-3 (3) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (3) (改善) 改善事項なし
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) 三つの方針を学内外に表明していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する ①学内：学生便覧 ②学外：本学Webサイト	I-B-3 (4) (実行) 継続した	◎ I-B-3 (4) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (4) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 三つの方針を関連付けて一体的に定めていることを確認済(令和2年認証評価より継続)	I-B-3 (1) (実行) 継続した	◎ I-B-3 (1) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (1) (改善) 改善事項なし
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 専攻会(slack)で11月までに三つの方針を協議する(令和2年度認証評価より継続)	I-B-3 (2) (実行) 11月までに三つの方針を協議した	◎ I-B-3 (2) (評価) 継続に問題はない	I-B-3 (2) (改善) 改善事項なし
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) 三つの方針を踏まえた教育活動実施について専攻主任が専攻科目の「学習成果の評価」で確認をする(令和2年度認証評価より継続)	I-B-3 (3) (実行) 三つの方針を踏まえた教育活動実施について専攻主任が専攻科目の「学習成果の評価」で確認をした	◎ I-B-3 (3) (評価) 三つの方針を踏まえた教育活動が行われており継続に問題はない	I-B-3 (3) (改善) 改善事項なし
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) ①三つの方針の学内表明：専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に確認する(令和2年認証評価より継続) ②三つの方針の学外表明：本学Webサイトに掲示(令和2年認証評価より継続)	I-B-3 (4) (実行) ①専攻が作成した「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に確認した ②本学Webサイトへの継続掲示	◎ I-B-3 (4) (評価) ①学内の表明になっており継続に問題はない ②学外の表明になっており継続に問題はない	I-B-3 (4) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)	
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 三つの方針を関連付けて一体的に定めているか点検する。	I-B-3 (1) (実行) 三つの方針を関連付けているのか専攻会で点検できた。	◎	I-B-3 (1) (評価)	I-B-3 (1) (改善)
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 三つの方針を組織的議論を重ねて策定しているか点検する。	I-B-3 (2) (実行) 11月末までに専攻会を行い、三つの方針について議論した。	◎	I-B-3 (2) (評価)	I-B-3 (2) (改善)
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) 三つの方針を踏まえた教育活動を行っているか点検する。	I-B-3 (3) (実行) DPに対する評価を11月末までに行い、次年度のカリキュラムの検討を行った。	◎	I-B-3 (3) (評価) DPに対する評価を11月末までに行い、次年度のカリキュラムの検討を行った。	I-B-3 (3) (改善)
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) 三つの方針を学内外に表明している。	I-B-3 (4) (実行) 学校案内・学生便覧・ホームページで表明している。	◎	I-B-3 (4) (評価)	I-B-3 (4) (改善)

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 三つ方針の関連について点検する。	I-B-3 (1) (実行)	◎ I-B-3 (1) (評価) 教務委員会の中で、点検した (会議録)。	I-B-3 (1) (改善) 継続
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 三つの方針を再確認する。	I-B-3 (2) (実行)	◎ I-B-3 (2) (評価) 学生便覧の作成と校正を通じて組織的に確認した (学生便覧)。	I-B-3 (2) (改善) 継続
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) 三つの方針を踏まえた教育活動を行っているか点検する。	I-B-3 (3) (実行)	◎ I-B-3 (3) (評価) 教員各自で点検した。	I-B-3 (3) (改善) 継続
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) 学校案内、学生便覧、Webサイトをとおして公表する。	I-B-3 (4) (実行)	◎ I-B-3 (4) (評価) 学校案内、学生便覧、Webサイトをとおして公表した。	I-B-3 (4) (改善) 継続

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)	
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 3つの方針 (AP,CP,DP) について、関連付けられているか、確認する。	I-B-3 (1) (実行) 学科会において確認した。	◎	I-B-3 (1) (評価)	I-B-3 (1) (改善) 継続する
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 学科会において、確認する。	I-B-3 (2) (実行) 学科会において確認した。	◎	I-B-3 (2) (評価)	I-B-3 (2) (改善) 継続する
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) AP,CP,DPの理解のもとに、授業等教育活動を行う。	I-B-3 (3) (実行) AP,CP,DPの理解のもとに、授業等教育活動を行っている。	○	I-B-3 (3) (評価) 令和4年1月、学修成果の見直しにひき続き、カリキュラムマップの見直しを行い、各科目の関連性を確認した。	I-B-3 (3) (改善) 1-B-2 (4) に記載
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) AP,CP,DPについて学生便覧、授業概要に記載する。APについては、学校案内に記載し、オープンキャンパス等において説明する。	I-B-3 (4) (実行) AP,CP,DPについては、学生便覧、授業概要に記載した。APについては、学校案内に記載し、オープンキャンパス等において説明している。	◎	I-B-3 (4) (評価)	I-B-3 (4) (改善) 継続する

区分レベル	I-B-3
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)	
I-B-3(1)	I-B-3 (1) (計画) 三つの方針を関連付けて一体的に定めているか確認する。	I-B-3 (1) (実行) 学科会議で確認した。	◎	I-B-3 (1) (評価)	I-B-3 (1) (改善)
I-B-3(2)	I-B-3 (2) (計画) 三つの方針を現状に見合うものか点検するとともに、三つの方針が連動したものであるか確認する。	I-B-3 (2) (実行) 学科長及び学科教務委員が中心となって確認し、学科会議で話し合った。	◎	I-B-3 (2) (評価)	I-B-3 (2) (改善)
I-B-3(3)	I-B-3 (3) (計画) DPを達成するために構成したCPをカリキュラムマップに示し、それを意識した授業を行うことで三つの方針を踏まえた教育活動を行う。	I-B-3 (3) (実行) 新カリキュラムに伴い作成したカリキュラムマップを活用し、教員は授業の位置づけを意識して授業を行うよう学科会議などで確認した。	◎	I-B-3 (3) (評価)	I-B-3 (3) (改善) 新しい教員もいるため、引き続き意識づけを行っていく。
I-B-3(4)	I-B-3 (4) (計画) 三つの方針を学生便覧・授業概要、webサイトに明記し、学生には入学時に説明を行う。	I-B-3 (4) (実行) 三つの方針を学生便覧・授業概要、webサイトに明記し、学生には入学時に説明を行った。	◎	I-B-3 (4) (評価)	I-B-3 (4) (改善)

区分レベル	I-C-1
学科専攻名	副学長、学務部長
記載者名	武分 祥子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-1(1)	I-C-1 (1)自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。 (計画) 規程を整備し、規程に基づき、委員会を組織・運営し定期的に開催する。	I-C-1 (1) (実行) 令和4年度は規程を確認し遵守した上で委員会を開催したが、定期的にはなかった。	○ I-C-1 (1) (検証) 令和4年度は、定期的にはなかったが、PDCAサイクルを検証し組織全体で報告書を作成をして公表した (閲覧、Webサイト)	I-C-1 (1) (改善) 開催計画を立案し、定期的に委員会を開催する。
I-C-1(2)	I-C-1 (2)定期的に自己点検・評価を行っている。 (計画) 各学科・専攻、各部署の現状や課題、改善計画の進行状況についてPDCAサイクルが確実に回っているかを毎年確認する。	I-C-1 (2) (実行) 教務委員会及び自己点検・評価委員会において、確認・点検をするとともに、各学科・専攻、各部署の会議において確認した (各会議録)。	◎ I-C-1 (2) (検証) 自己点検・評価委員会、教務委員会、各学科専攻、部署ごとにPDCAサイクルが回っているか確認できた (各会議録)。	I-C-1 (2) (改善) 引き続き、各委員会、各学科専攻、部署ごとにPDCAを回し確認していく。
I-C-1(3)	I-C-1 (3)定期的に自己点検・評価報告書等を公表している。 (計画) 毎年確認した結果を「白書」としてまとめ、全教職員に配信するとともにWebサイトにも公表している。	I-C-1 (3) (実行) 令和4年度は2.3年度に続き新形式 (PDCAサイクルの記入) を実施し白書に匹敵する報告書を作成し公表した。	◎ I-C-1 (3) (検証) 令和4年度は2.3年度に続き新形式 (PDCAサイクルの記入) を実施し白書に匹敵する報告書を作成し公表した (閲覧、Webサイト)。	I-C-1 (3) (改善) 引き続き、新形式 (PDCAサイクルの記入) を実施し白書に匹敵する報告書を作成し公表していく。
I-C-1(4)	I-C-1 (4)自己点検・評価活動に全教職員が関与している。 (計画) 各学科・専攻、各部署において、一人ひとりが現状や課題、改善計画の進行状況について検討を行う。	I-C-1 (4) (実行) 学科会、専攻会、委員会等を通じて、自己点検・評価の観点や課題について話し合い意見を出しあった (各会議録)。	◎ I-C-1 (4) (検証) 学科会、専攻会、委員会等を通じて、自己点検・評価の観点や課題について話し合い意見を出しあった (各会議録)。	I-C-1 (4) (改善) 引き続き、各委員会、各学科専攻、部署ごとに全教員が現状や課題、改善計画について検討する。
I-C-1(5)	I-C-1 (5)自己点検・評価活動に高等学校等の関係者の意見聴取を取り入れている。 (計画) 高校を対象とした連絡懇談会や姉妹校との連絡懇談会を開催し、本学に対する意見や要望を聞く。	I-C-1 (5) (実行) 短大・高校連絡懇談会は、小規模・短時間で実施され学校長を中心に意見聴取ができた。引き続き各高校に向いて意見や要望を聴取した (広報課資料)。	◎ I-C-1 (5) (検証) 短大・高校連絡懇談会は、小規模・短時間で実施され学校長を中心に意見聴取ができた。引き続き各高校に向いて意見や要望を聴取した (広報課資料)。	I-C-1 (5) (改善) 引き続き、積極的に高等学校等との連絡を密にして意見聴取を続けていく。
I-C-1(6)	I-C-1 (6)自己点検・評価の結果を改革・改善に活用している。 (計画) 毎年確認した結果を、各学科・専攻、各部署において確認し、授業や学生指導、地域貢献の見直しに反映する。	I-C-1 (6) (実行) 学科会、専攻会、委員会等を通じて、「報告書」の内容を各人が確認し、授業改善や学生指導等に役立てた (各会議録)。	◎ I-C-1 (6) (実行) 学科会、専攻会、委員会等を通じて、「報告書」の内容を各人が確認し、授業改善や学生指導等に役立てた (各会議録)。	I-C-1 (6) (改善) 引き続き、授業や学生指導に役立てていく。

区分レベル	I-C-2
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-2(1)	<p>I-C-2 (1) (計画)</p> <p>①各学科専攻の学修成果及び授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定する</p> <p>②授業改善アンケート実施及び結果の時期を見直し、年度内に前・後期の学修成果評価ができるようにする</p>	<p>I-C-2 (1) (実行)</p> <p>①各学科専攻の前期学修成果及び前期授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定した</p> <p>②授業改善アンケートの実施時期を前期は夏季休業前、後期は年度末休業前とし、長期休暇中に授業評価ができるようにした</p>	<p>I-C-2 (1) (評価)</p> <p>継続に問題はない</p> <p>◎ ①各学科専攻ともにPDCAサイクルを意識した学修成果の確認ができている</p> <p>②授業改善アンケート結果の提示が早くなり、授業評価・改善の時間を長期休暇中にとることができた</p>	<p>I-C-2 (1) (改善)</p> <p>改善事項なし</p>
I-C-2(2)	<p>I-C-2 (2) (計画)</p> <p>教育の質を保証するための査定の手法 (各学科専攻の学修成果等) を教務委員会で点検する</p>	<p>I-C-2 (2) (実行)</p> <p>教務委員会で点検した</p>	<p>I-C-2 (2) (評価)</p> <p>◎ 継続に問題はない</p>	<p>I-C-2 (2) (改善)</p> <p>改善事項なし</p>
I-C-2(3)	<p>I-C-2 (3) (計画)</p> <p>教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用する</p> <p>※P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等) C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行う</p>	<p>I-C-2 (3) (実行)</p> <p>P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等)</p> <p>C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行った</p>	<p>I-C-2 (3) (評価)</p> <p>◎ 継続に問題はない</p>	<p>I-C-2 (3) (改善)</p> <p>改善事項なし</p>
I-C-2(4)	<p>I-C-2 (4) (計画)</p> <p>関連法規の変更などを確認し法令を遵守する</p>	<p>I-C-2 (4) (実行)</p> <p>教務課が主体となり各学科専攻会及び教務委員会で協議のもと適切な対応をした</p>	<p>I-C-2 (4) (評価)</p> <p>◎ 継続に問題はない</p>	<p>I-C-2 (4) (改善)</p> <p>改善事項なし</p>

区分レベル	I-C-2
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-2(1)	I-C-2 (1) (計画) 学習成果を焦点とする査定手法として専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告する (令和3年自己点検より継続)	I-C-2 (1) (実行) 専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告した	◎ I-C-2 (1) (評価) 学習成果を焦点とする査定手法を有しており、継続に問題はない	I-C-2 (1) (改善) 改善事項なし
I-C-2(2)	I-C-2 (2) (計画) 学習成果を査定する手法 (専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告) を専攻会で点検する	I-C-2 (2) (実行) 専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告することが学習成果を査定する手法になり得るか、専攻会(slack)で協議をした	◎ I-C-2 (2) (評価) 学習成果を査定する手法を点検しており、継続に問題はない	I-C-2 (2) (改善) 改善事項なし
I-C-2(3)	I-C-2 (3) (計画) 教育の向上・充実のためのPDCAサイクル活用として、専攻教員は担当授業科目の「学修成果評価」を行う	I-C-2 (3) (実行) 専攻教員は担当授業科目の「学修成果評価」を行った	◎ I-C-2 (3) (評価) 教育の向上・充実のためのPDCAサイクル活用となっており、継続に問題はない	I-C-2 (3) (改善) 改善事項なし
I-C-2(4)	I-C-2 (4) (計画) 関係法令の変更などを確認し、法令を遵守する (令和2年度認証評価より継続)	I-C-2 (4) (実行) 関係法令の変更などを確認し、法令を遵守した	◎ I-C-2 (4) (評価) 法令の順守ができており、継続に問題はない	I-C-2 (4) (改善) 改善事項なし

区分レベル	I-C-2
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-2(1)	I-C-2 (1) (計画) 自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。	I-C-2 (1) (実行)	◎ I-C-2 (1) (評価)	I-C-2 (1) (改善)
I-C-2(2)	I-C-2 (2) (計画) 定期的に自己点検・評価を行っている。	I-C-2 (2) (実行) 11月に定期点検を行った。	◎ I-C-2 (2) (評価) 11月に定期点検を行った。	I-C-2 (2) (改善)
I-C-2(3)	I-C-2 (3) (計画) 定期的に自己点検・評価報告書等を公表している。	I-C-2 (3) (実行) 学内の自己点検に合わせて公表している。	◎ I-C-2 (3) (評価)	I-C-2 (3) (改善)
I-C-2(4)	I-C-2 (4) (計画) 自己点検・評価活動に全教職員が関与している。	I-C-2 (4) (実行) 専攻教員で自己点検に努めた。	◎ I-C-2 (4) (評価) 5月末に、介護福祉士関連の変更届を申請した。	I-C-2 (4) (改善) 次年度も、教務主任が介護福祉士関連の変更届及び定期報告・自己点検を行う。

区分レベル	I-C-2
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-2(1)	I-C-2 (1) (計画) 学修成果を確認するためのルーブリックを作成する。	I-C-2 (1) (実行)	○ I-C-2 (1) (評価) 食物栄養専攻独自のルーブリックを作成した。	I-C-2 (1) (改善) ルーブリックの内容を改善する。
I-C-2(2)	I-C-2 (2) (計画) ルーブリックの内容について点検を行う。	I-C-2 (2) (実行)	△ I-C-2 (2) (評価) ルーブリックの内容について専攻内で点検したが、点検の機会が少なかった。	I-C-2 (2) (改善) 点検した学生の意見も取り入れて内容を改善する。
I-C-2(3)	I-C-2 (3) (計画) 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルのためにルーブリックを活用する。	I-C-2 (3) (実行)	△ I-C-2 (3) (評価) ルーブリックの内容について専攻内で点検した。	I-C-2 (3) (改善) ルーブリックをうまく活用してもらう必要があるので、活用方法を学生に伝える。
I-C-2(4)	I-C-2 (4) (計画) 栄養士養成施設の設置基準について専攻内で確認する	I-C-2 (4) (実行)	◎ I-C-2 (4) (評価) 栄養士養成施設の設置基準について専攻内で確認した。設置基準について全員で確認できた。	I-C-2 (4) (改善) 引き続き専攻内で基準を確認する。

区分レベル	I-C-2
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
I-C-2(1)	I-C-2 (1) (計画) 学科のアセスメントポリシーを毎年点検する。	I-C-2 (1) (実行) 学科会議で確認した。	◎	I-C-2 (1) (評価) I-C-2 (1) (改善) 切り替え時期のため、新カリ・旧カリともに チェックしていく。
I-C-2(2)	I-C-2 (2) (計画) できている。 学科のアセスメントポリシーを毎年点検する。	I-C-2 (2) (実行) 学科会議で確認した。	◎	I-C-2 (2) (評価) I-C-2 (2) (改善)
I-C-2(3)	I-C-2 (3) (計画) 授業改善アンケートの結果を用いて、教育の向 上・充実のためのPDCAサイクルを活用する。	I-C-2 (3) (実行) 全科目アンケートを実施し、教員はその内容を 授業内容に反映させた。 非常勤講師のアンケートについては難しい部分 もあったが、学科長と学科教務委員でアンケ ート結果を確認し、問題点があるかチェッ クした。	○	I-C-2 (3) (評価) 大きな問題はなかったと考える。 ただ、全体的に回答率が低く、学生の負担が大 きいことも考えられた。 I-C-2 (3) (改善) 継続する 学生への負担が軽減するよう、アンケート回答 方法を検討しながら実施していく。
I-C-2(4)	I-C-2 (4) (計画) 学校教育法、短期大学設置基準等の関係法令の 変更等を確認し、変更時は対応をおこなう。	I-C-2 (4) (実行) 確認し、関係法令の変更はなかった。	◎	I-C-2 (4) (評価) I-C-2 (4) (改善)